

講義名:	ヒューマンスキルプログラムⅡ	講義時間数: 32時間	受講コース名: 全コース
担当:	平岡	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 通年
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	学科・コース合同授業 担当教員:岡崎、小童、高橋、平岡、坂上、上村、松田		
講義概要:	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目~4回目:キャリア支援センター(高橋氏)主導で実施 ・5回目~ :社会で活躍するために必要なスキルについてチームでまとめて発表する 		
到達目標:	社会に出て必要なスキルについて考えて発表する。その際、以下の2点を踏まえてまとめるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・各学科での学び(インターンシップ等)を共有する。 ・企業や卒業生など実際に社会で活躍している方の体験談を参考にする。 		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	2022/5/13 学科合同面接練習会	17回目	2023/1/27 *予備日
2回目	2022/6/3 企業座談会(様々な大人の価値観に触れる)	18回目	
3回目	2022/7/1 学科研修	19回目	
4回目	2022/9/9 パネルディスカッション(企業×学生×教員)	20回目	
5回目	2022/10/7 講演(企業)	21回目	
6回目	2022/10/14 講演(卒業生)	22回目	
7回目	2022/10/28 グループワーク	23回目	
8回目	2022/11/4 グループワーク	24回目	
9回目	2022/11/11 フィールドワーク(企業訪問)	25回目	
10回目	2022/11/18 *学園行事(秋のピースポ)	26回目	
11回目	2022/11/25 プレゼン資料作成	27回目	
12回目	2022/12/2 プレゼン資料作成	28回目	
13回目	2022/12/9 *学園行事(学友会選挙)	29回目	
14回目	2022/12/16 クラス内発表	30回目	
15回目	2023/1/13 全体発表(体育館) *選抜チーム	31回目	
16回目	2023/1/20 *予備日	32回目	
授業教材等:	筆記用具、プリント教材		

講義名:	春期特別講座	講義時間数:	15時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	小童	単位数:	1単位	学年:	2年
講義形式:	演習			実施時期:	2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)			実務経験者	担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	なし				
備考:	なし				
講義概要:	春の公務員試験に向けて、教養科目の問題演習を実施。				
到達目標:	各教科、重点項目の得点力向上 試験に向けて意識の向上				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
毎回共通	公務員試験対策の演習				
授業教材等:	オリジナルプリント				

講義名:	セルフマネジメントⅡ①	講義時間数: 44時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童・岡崎	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他 朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	学科研修Ⅱ	講義時間数: 18時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童・岡崎	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習(グループディスカッション含む)		実施時期: 2022年度 通年
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:	なし		
講義概要:	公務員学科学生として、公務員試験に合格し、その先で活躍する人財になるための日々のあり方について考える。年3回、高校の恩師に向け近況報告書を作成・送付する。		
到達目標:	チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	学科研修①		
2回目	学科研修②		
3回目	学科研修③		
4回目	学科研修④		
5回目	履修状況報告書作成①		
6回目	ふりかえり		
7回目	履修状況報告書作成②		
8回目	ふりかえり		
9回目	履修状況報告書作成作成③		
授業教材等:	オリジナルテキスト		

講義名:	数的処理Ⅱ①	講義時間数:	63時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	小童・平岡	単位数:	4単位	学年:	2年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:					
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。				
到達目標:	①基本的計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 ②難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 ③チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に着ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	利益算(授業プリントによる講義、演習)	17回目	三平方の定理(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト		
2回目	利益算(授業プリントによる講義、演習)	18回目	図形の面積(授業プリントによる講義、演習)		
3回目	利益算(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト	19回目	図形の面積(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト		
4回目	集合(授業プリントによる講義、演習)	20回目	図形の体積(授業プリントによる講義、演習)		
5回目	集合(授業プリントによる講義、演習)	21回目	図形の体積(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト		
6回目	集合(授業プリントによる講義、演習)	22回目	復習		
7回目	集合(授業プリントによる講義、演習)	23回目	復習		
8回目	集合(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト	24回目	単位認定試験		
9回目	倍数と約数(授業プリントによる講義、演習)	25回目			
10回目	倍数と約数(授業プリントによる講義、演習)	26回目			
11回目	倍数と約数(授業プリントによる講義、演習)	27回目			
12回目	倍数と約数(授業プリントによる講義、演習)、確認テスト	28回目			
13回目	整数問題(授業プリントによる講義、演習)	29回目			
14回目	整数問題(授業プリントによる講義、演習)	30回目			
15回目	整数問題(授業プリントによる講義、演習)	31回目			
16回目	三平方の定理(授業プリントによる講義、演習)	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント				

講義名:	数的処理Ⅱ②	講義時間数: 60時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童・平岡	単位数: 4単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)	実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	①基本的計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。 ②難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 ③チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	総合演習プリントの実施(最終回のみ単位認定試験)		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	課題処理Ⅱ	講義時間数: 48時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	横田	単位数: 3単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)	実務経験:	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めればいいのかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	総合演習プリントの実施(最終回のみ単位認定試験)		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	政治経済Ⅱ	講義時間数:	46時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	岡崎	単位数:	3単位	学年:	2年
講義形式:	座学・演習	実施時期:	2022年度 前期		
認定方法:	認定試験(筆記)	実務経験者 担当科目			
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)	実務経験:			
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業時間内確認テストの再テストを放課後に実施する				
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身につけ、日本及び世界のニュースに対する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身につける				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	日本経済の発展①	17回目	民主主義の基本原理②	33回目	
2回目	日本経済の発展②	18回目	民主主義の基本原理③	34回目	
3回目	日本経済の発展③	19回目	民主主義の基本原理④	35回目	
4回目	日本経済の発展④	20回目	民主主義の基本原理⑤	36回目	
5回目	日本経済の発展⑤	21回目	民主主義の基本原理・確認テスト	37回目	
6回目	日本経済の発展・確認テスト 国際政治①	22回目	問題演習	38回目	
7回目	国際政治②	23回目	問題演習	39回目	
8回目	国際政治③	24回目	第1回単位認定試験	40回目	
9回目	国際政治④	25回目		41回目	
10回目	国際政治⑤	26回目		42回目	
11回目	国際政治・確認テスト 国際経済①	27回目		43回目	
12回目	国際経済②	28回目		44回目	
13回目	国際経済③	29回目		45回目	
14回目	国際経済④	30回目		46回目	
15回目	国際経済⑤	31回目		47回目	
16回目	国際経済・確認テスト 民主主義の基本原理①	32回目		48回目	
授業教材等:					

講義名:	自然科学Ⅱ	講義時間数:	45時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	安廣	単位数:	3単位	学年:	2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期		
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。				
講義概要:	公務員試験で出題される自然系科目(生物・物理・科学・地学)について学ぶ。				
到達目標:	自然に属する諸々の対象を取り扱い、その法則性を明らかにするだけでなく、一般常識的な基礎知識を学ぶ。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	化学/モルとアボガドロ数:授業プリントによる講義・過去問演習	17回目	物理/位置エネルギー:授業プリントによる講義・過去問演習		
2回目	化学/化学反応式:授業プリントによる講義・過去問演習	18回目	化学/有機化学:授業プリントによる講義・過去問演習		
3回目	化学/物質の構造:授業プリントによる講義・過去問演習	19回目	生物/遺伝と仕組みと遺伝子の本体:授業プリントによる講義・過去問演習		
4回目	地学/地球の構造:授業プリントによる講義・過去問演習	20回目	地学/地球と星の運動:授業プリントによる講義・過去問演習		
5回目	物理/力と運動Ⅱ:授業プリントによる講義・過去問演習	21回目	化学/原子と原子核:授業プリントによる講義・過去問演習		
6回目	化学/物質の三態変化:授業プリントによる講義・過去問演習	22回目	半年間の総復習プリント演習		
7回目	生物/植物の調節作用:授業プリントによる講義・過去問演習	23回目	単位認定試験		
8回目	地学/気圧と風:授業プリントによる講義・過去問演習	24回目			
9回目	物理/波動:授業プリントによる講義・過去問演習	25回目			
10回目	化学/酸と塩基:授業プリントによる講義・過去問演習	26回目			
11回目	生物/同化と異化:授業プリントによる講義・過去問演習	27回目			
12回目	地学/岩石:授業プリントによる講義・過去問演習	28回目			
13回目	物理/電気:授業プリントによる講義・過去問演習	29回目			
14回目	化学/神経系の発達:授業プリントによる講義・過去問演習	30回目			
15回目	生物/生殖と発生:授業プリントによる講義・過去問演習	31回目			
16回目	地学/地殻変動と地震:授業プリントによる講義・過去問演習	32回目			
授業教材等:					

講義名:	人文科学Ⅱ	講義時間数:	45時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	小童	単位数:	3単位	学年:	2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期		
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	無				
講義概要:	公務員試験で出題される人文系科目(日本史・世界史・地理)のうち、日本史分野中心に講義・演習を行う。				
到達目標:	①我が国の歴史の主な事象を、人物の動きや出来事を中心に学ぶ。 ②歴史的思考力を養い、現代社会とのかかわりを考える力を身に着ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	鎌倉時代(授業プリントによる講義)	17回目	幕末(授業プリントによる講義)		
2回目	鎌倉時代(授業プリントによる講義)	18回目	幕末(授業プリントによる講義)、演習		
3回目	鎌倉時代(授業プリントによる講義)、演習プリント	19回目	明治時代(授業プリントによる講義)		
4回目	室町時代(授業プリントによる講義)	20回目	明治時代(授業プリントによる講義)		
5回目	室町時代(授業プリントによる講義)	21回目	明治時代(授業プリントによる講義)、演習プリント		
6回目	室町時代(授業プリントによる講義)、演習プリント	22回目	総復習		
7回目	安土桃山時代(授業プリントによる講義)	23回目	単位認定試験		
8回目	安土桃山時代(授業プリントによる講義)	24回目			
9回目	安土桃山時代(授業プリントによる講義)、演習プリント	25回目			
10回目	江戸時代【前期】(授業プリントによる講義)	26回目			
11回目	江戸時代【前期】(授業プリントによる講義)	27回目			
12回目	江戸時代【前期】(授業プリントによる講義)、演習プリント	28回目			
13回目	江戸時代【後期】(授業プリントによる講義)	29回目			
14回目	江戸時代【後期】(授業プリントによる講義)	30回目			
15回目	江戸時代【後期】(授業プリントによる講義)、演習プリント	31回目			
16回目	幕末(授業プリントによる講義)	32回目			
授業教材等:					

講義名:	模擬試験Ⅱ	講義時間数: 66時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童・岡崎	単位数: 4単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	7/27(水)および7/28(木)の2日間で、総合模試(本番を想定した教養試験・面接試験・体力試験・適性試験)を実施。面接の評価は学科教員による。		
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問・100分、マークシート方式)及び適性試験(120問・20分、マークシート方式)を実施する。		
到達目標:	①公務員試験受験に向けて、実践的な訓練を積む。 ②学生が目標を持ち、計画的に目標達成をする習慣を作るとともに、復習を含めた学習習慣を作る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通			
授業教材等:			

講義名:	SPI試験対策Ⅱ	講義時間数: 22時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	テキスト・オリジナルプリントに順じて演習問題を進める。		
到達目標:	採用試験にSPIを導入する自治体が増えてきていることから、SPI試験を実施する自治体にも対応できる基礎力を身に着ける。また、教えあいの時間を設け、ただ時間内に解くだけでなく復習を徹底することにより各分野の解き方を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	問題演習①(言語分野/非言語分野)		
2回目	問題演習②(言語分野/非言語分野)		
3回目	問題演習③(言語分野/非言語分野)		
4回目	SPI模擬試験①		
5回目	問題演習④(言語分野/非言語分野)		
6回目	問題演習⑤(言語分野/非言語分野)		
7回目	問題演習⑥(言語分野/非言語分野)		
8回目	SPI模擬試験②		
9回目	問題演習⑦(言語分野/非言語分野)		
10回目	問題演習⑧(言語分野/非言語分野)		
11回目	問題演習⑨(言語分野/非言語分野)		
12回目	SPI模擬試験③		
13回目	問題演習⑩(言語分野/非言語分野)		
14回目	総復習		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	基礎から学ぶSPIベーシック問題集/実務教育出版、実践レベルで学ぶSPI対策問題集/実務教育出版		

講義名:	新教養試験対策	講義時間数:	44時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	岡崎 良美	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	座学			実施時期:	2022年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記試験)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	有り(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り				
講義概要:	新教養試験の中で高いウェートを占める時事分野について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身につけ、日本及び世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身につける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	新教養 労働問題①	12回目	新教養 人口問題 確認テスト、環境問題①		
2回目	新教養 労働問題②	13回目	新教養 環境問題②		
3回目	新教養 労働問題③	14回目	新教養 環境問題③		
4回目	新教養 労働問題④	15回目	新教養 環境問題④		
5回目	新教養 労働問題 確認テスト	16回目	新教養 環境問題 確認テスト		
6回目	新教養 社会保障制度①	17回目	新教養 世界遺産①		
7回目	新教養 社会保障制度②	18回目	新教養 世界遺産②		
8回目	新教養 社会保障制度③	19回目	新教養 世界遺産③		
9回目	新教養 社会保障制度④	20回目	問題演習		
10回目	新教養 社会保障制度 確認テスト、人口問題①	21回目	問題演習		
11回目	新教養 人口問題②	22回目	単位認定試験		
授業教材等:	オリジナルプリント等				

講義名:	選択授業 体育Ⅱ①	講義時間数: 38時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 4年勤務 岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	・公務員試験突破に向け体力の向上を図る。スポーツクラブと提携しインストラクターから美と健康についての指導もいただき生きるための継続的な体力を育てる。		
到達目標:	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験で項目にある種目の体力向上を図り、試験突破を目指す。 ・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・外部の施設を使用させていただく中でルール・マナーを身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。 		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	外部施設へ伺いオリエンテーション		
2回目	外部施設へ伺いオリエンテーション		
3回目	施設を利用して体力向上を図る		
4回目	施設を利用して体力向上を図る		
5回目	施設を利用して体力向上を図る		
6回目	施設を利用して体力向上を図る		
7回目	施設を利用して体力向上を図る		
8回目	第1回体力テストを実施		
9回目	施設を利用して体力向上を図る		
10回目	施設を利用して体力向上を図る		
11回目	施設を利用して体力向上を図る		
12回目	施設を利用して体力向上を図る		
13回目	施設を利用して体力向上を図る		
14回目	第1回体力テストを実施		
15回目	施設を利用して体力向上を図る		
16回目	施設を利用して体力向上を図る		
授業教材等:	体育館、スポーツクラブ		

講義名:	選択授業 TKPⅡ①	講義時間数:	43時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	平岡・外部講師	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	座学・実習		実施時期: 2022年度 前期		
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	無				
備考:	2022年4月14日~9月29日(全20回) *2022/6/30は学園行事により出席は5時間でカウントする 外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業				
講義概要:	行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協働し、県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山市イノベーションチャレンジ(岡山市主催)にエントリーする。				
到達目標:	岡山市イノベーションチャレンジ(岡山市主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけではなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	2022/4/14 探究活動導入	17回目	2022/9/1 行政担当者や教育関係者の意見を聞く		
2回目	2022/4/21 岡山市イノベーションチャレンジの概要について	18回目	2022/9/8 行政担当者や教育関係者の意見を聞く		
3回目	2022/4/28 岡山市イノベーションチャレンジ応募書類作成	19回目	2022/9/15 造山古墳ガイドや探究の学びのまとめ		
4回目	2022/5/12 造山古墳ガイドの意義について	20回目	2022/9/22 造山古墳ガイドや探究の学びのまとめ		
5回目	2022/5/19 SDGs企業訪問の振り返り	21回目			
6回目	2022/5/26 新聞投稿文の添削指導	22回目			
7回目	2022/6/2 RESASの使い方について	23回目			
8回目	2022/6/9 岡山市イノベーションチャレンジを稼働させる	24回目			
9回目	2022/6/16 グループワーク① 活動内容の調査	25回目			
10回目	2022/6/23 グループワーク② 活動内容の調査	26回目			
11回目	2022/6/30 学園行事(ビースポ)出席5時間分	27回目			
12回目	2022/7/7 グループワーク③ 活動内容の調査	28回目			
13回目	2022/7/14 グループワーク④ 活動内容の調査報告	29回目			
14回目	2022/7/21 プレゼン資料の作り方	30回目			
15回目	2022/8/18 プレゼン資料の作り方	31回目			
16回目	2022/8/25 グループごとの調査の共有	32回目			
授業教材等:	筆記用具、オリジナルテキスト				

講義名:	一般知能実践(数的処理)Ⅱ	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「数的処理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出をさせる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身につけさせる。 ②計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を身につけさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	数的処理の演習問題を4月~9月の間に出す。		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(課題処理)Ⅱ	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	横田	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「課題処理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出をさせる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身につけさせる。 ②計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を身につけさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	課題処理の演習問題を4月~9月の間に出す。		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(政治経済)Ⅱ	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	岡崎	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数(10回)の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「政治経済」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身につけさせる。 ②計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を身につけさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	政治経済の演習問題を4月~9月の間に出す。		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	NIE II	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童・岡崎	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習		実施時期: 2022年度 前期
認定方法:	その他(課題提出による提出点)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)	実務経験:	
追試験実施:	なし		
備考:	なし		
講義概要:	新聞の記事を読み、その内容に関する所感を記入することで、基本的な文章の読解、構成力を身に付けさせる。		
到達目標:	基本的な文章の読解力、文章作成・構成力を身につけさせる。 一般的な社会時事を自分で読み解き、自ら関心をもって調べる能力を育成する。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	新聞の読解及び所感の記入		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	セルフマネジメントⅡ②	講義時間数: 48時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童・岡崎	単位数: 3単位	学年: 2年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	面接技法Ⅱ	講義時間数:	17時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	小童・岡崎	単位数:	1単位	学年:	2年
講義形式:	演習			実施時期:	2022年度 後期
認定方法:	その他(出席を得点化して評価)			実務経験者	担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	なし				
備考:	なし				
講義概要:	公務員面接試験に向け、自己理解、職業理解を深めながら面接対策を行う。				
到達目標:	自己分析に基づいた自身の強みや職業に対する想いを、自らの言葉で伝えられるようになる。 面接シート作成を通じ、論理的に考え、自身の意見を表現できるようになる。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	自己分析				
2回目	自己分析				
3回目	面接シート作成				
4回目	面接シート作成				
5回目	面接シート作成				
6回目	面接練習(集団面接)				
7回目	面接練習(集団面接)				
8回目	模擬面接				
授業教材等:	オリジナルテキスト				

講義名:	パソコン基礎	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	岡崎 良美 小童 望未	単位数: 2単位	学年: 2年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	MOS問題演習、タイピング練習、Word、Excelを活用したビジネス文書作成		
到達目標:	Word、Excelの基本操作ができる 基本的なビジネス文書が作成できる		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目		17回目	
2回目		18回目	
3回目		19回目	
4回目		20回目	
5回目		21回目	
6回目		22回目	
7回目		23回目	
8回目		24回目	
9回目		25回目	
10回目		26回目	
11回目		27回目	
12回目		28回目	
13回目		29回目	
14回目		30回目	
15回目		31回目	
16回目		32回目	
授業教材等:			

講義名:	簿記基礎Ⅱ	講義時間数:	32時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数:	2単位	学年:	2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期		
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り				
講義概要:	全国経理検定協会・簿記3級テキストを使用し、お金の流れや簿記の基礎知識を学ぶ。				
到達目標:	自己分析に基づいた自身の強みや職業に対する想いを、自らの言葉で伝えられるようになる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身につける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	オリエンテーション				
2回目	身のまわりの簿記				
3回目	仕訳と転記①				
4回目	仕訳と転記②				
5回目	決算の手続き①				
6回目	決算の手続き②				
7回目	現金と当座預金①				
8回目	現金と当座預金②				
9回目	商品売買①				
10回目	商品売買②				
11回目	商品売買③				
12回目	マネジメントゲーム①				
13回目	マネジメントゲーム②				
14回目	マネジメントゲーム③				
15回目	単位認定試験対策				
16回目	単位認定試験				
授業教材等:	全国経理検定協会・簿記3級テキスト、全国経理検定協会・簿記3級問題集				

講義名:	ビジネス基礎Ⅱ	講義時間数:	20時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	岡崎 良美 小童 望未	単位数:	1単位	学年:	2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期		
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	無				
備考:	電話実習の実施を単位認定の要件とする				
講義概要:	電話対応の実習、名刺交換や席次、冠婚葬祭など、社会人の基本マナーを身につける				
到達目標:	社会人として必要な一般常識や、社会生活を送るうえで知っておくべき基本的な知識を身につける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	敬語、言葉遣いについて	17回目	一般常識①		
2回目	電話対応①	18回目	一般常識②		
3回目	電話対応②	19回目	一般常識③		
4回目	電話対応③	20回目	一般常識④		
5回目	電話対応④	21回目			
6回目	電話対応⑤	22回目			
7回目	来客対応、名刺交換	23回目			
8回目	お茶出し	24回目			
9回目	冠婚葬祭①	25回目			
10回目	冠婚葬祭②	26回目			
11回目	冠婚葬祭③	27回目			
12回目	冠婚葬祭④	28回目			
13回目	テーブルマナー①	29回目			
14回目	テーブルマナー②	30回目			
15回目	テーブルマナー③	31回目			
16回目	テーブルマナー④	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント				

講義名:	プレゼン・パワーポイントⅡ	講義時間数: 16時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	平岡 成一	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(プレゼンテーションを点数化して評価)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:なし
追試験実施:	なし		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日プレゼンテーションの実施可能。		
講義概要:	パワーポイントの基本操作の取得 伝わるプレゼンテーションに共通する項目について知る		
到達目標:	パワーポイントの機能を使ってプレゼン資料を作成することができる。 プレゼン資料を用いて効果的にプレゼンテーションを行うことができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	授業の目的・スケジュール確認		
2回目	パワーポイントの使い方(デザイン、プレゼンについて)①		
3回目	パワーポイントの使い方(デザイン、プレゼンについて)②		
4回目	プレゼンテーション準備①		
5回目	プレゼンテーション準備②		
6回目	プレゼンテーション実践①		
7回目	プレゼンテーション実践②		
8回目	まとめ		
授業教材等:	個人用ノートパソコン		

講義名:	選択授業 体育Ⅱ②	講義時間数: 24時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 4年勤務 岐阜県スポーツ科学トレーニングセンター
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	・公務員試験突破に向け体力の向上を図る。スポーツクラブと提携しインストラクターから美と健康についての指導もいただき生きるための継続的な体力を育てる。		
到達目標:	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員試験で項目にある種目の体力向上を図り、試験突破を目指す。 ・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・外部の施設を使用させていただく中でルール・マナーを身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。 		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	施設を利用して体力向上を図る		
2回目	施設を利用して体力向上を図る		
3回目	施設を利用して体力向上を図る		
4回目	施設を利用して体力向上を図る		
5回目	施設を利用して体力向上を図る		
6回目	施設を利用して体力向上を図る		
7回目	施設を利用して体力向上を図る		
8回目	第2回体力テストを実施		
9回目	施設を利用して体力向上を図る		
10回目	施設を利用して体力向上を図る		
11回目	施設を利用して体力向上を図る		
12回目	施設を利用して体力向上を図る		
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	体育館、スポーツクラブ		

講義名:	選択授業 TKPⅡ②	講義時間数: 24時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	平岡・外部講師	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	座学・実習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	2022年10月6日~2023年1月26日(全12回) 外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業		
講義概要:	行政機関、企業、NPO及び地域団体等と協働し、県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山市イノベーションチャレンジ(岡山市主催)にエントリーする。		
到達目標:	岡山市イノベーションチャレンジ(岡山市主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけではなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	2022/10/6 岡山市イノベーションチャレンジ中間発表のプレゼン資料作成		
2回目	2022/10/13 岡山市イノベーションチャレンジ中間発表のプレゼン資料作成		
3回目	2022/10/27 岡山市イノベーションチャレンジ中間発表のプレゼン練習		
4回目	2022/11/10 岡山市イノベーションチャレンジ中間発表を踏まえてのブラッシュアップ(補足項目検討)		
5回目	2022/11/17 岡山市イノベーションチャレンジ中間発表を踏まえてのブラッシュアップ(追加調査)		
6回目	2022/11/24 造山古墳ボランティアガイドの振り返り		
7回目	2022/12/1 新聞投稿作成(造山古墳ボランティアガイドの経験)		
8回目	2022/12/8 新聞投稿添削(造山古墳ボランティアガイドの経験)		
9回目	2022/12/15 岡山市イノベーションチャレンジ報告会のプレゼン資料作成		
10回目	2022/1/12 岡山市イノベーションチャレンジ報告会のプレゼン資料作成		
11回目	2022/1/19 岡山市イノベーションチャレンジ報告会のプレゼン練習		
12回目	2022/1/26 探究活動の振り返り		
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	筆記用具、オリジナルテキスト		

講義名:	卒業制作Ⅱ	講義時間数:	19時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	小童・岡崎	単位数:	1単位	学年:	2年
講義形式:	演習			実施時期:	2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)			実務経験者	担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:					
講義概要:	学校生活を振り返り、自身の成長や挫折、学びについて考えプレゼンテーションする。				
到達目標:	①今ある環境を肯定的に受け入れ、周囲への感謝の気持ちを持つ。 ②自己肯定感・自己効力感を高める。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	授業の目的・スケジュール確認				
2回目	プレゼン準備①				
3回目	プレゼン準備②				
4回目	プレゼン準備③				
5回目	プレゼン準備④				
6回目	プレゼンテーション発表①				
7回目	プレゼンテーション発表②				
8回目	プレゼンテーション発表③				
9回目	プレゼン準備①				
10回目	プレゼン準備②				
11回目	プレゼン準備③				
12回目	プレゼン準備④				
13回目	プレゼン準備⑤				
14回目	プレゼンテーション発表①				
15回目	プレゼンテーション発表②				
16回目	プレゼンテーション発表③				
授業教材等:					

講義名:	クロス授業	講義時間数: 16時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童・岡崎	単位数: 1単位	学年: 2年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2022年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	なし		
備考:			
講義概要:	自学科以外の教員が社会人として身に着けるべき知識・教養に関して様々な視点から講義を行う。		
到達目標:	他学科教員の講義を受講し、様々な知識及び幅広い教養を身に着ける。 社会人として必要な心構え、知識を身に着け、新社会人となる準備を行う。 た学科教員とコミュニケーションを図り、専門知識以外の知識を学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	旅行(中尾)		
2回目	車と保険(藤田)		
3回目	平和学習2021(上村)		
4回目	英会話～必要なのは度胸だけ～(高橋)		
5回目	お金の貯め方・使い方(松田)		
6回目	ヒポクラテスの誓い(今川)		
7回目	PSA活用術(横田)		
8回目	マンガから学ぶ人生を前向きに生きるヒント(坂上)		
授業教材等:			